

## ことば編④

質問したことから答えがずれる子って



どんな時？こんな理由かな？

- 疑問詞（「どこ・だれ」など）の理解が難しく質問内容が分からない。
- ▲ 自分の発話の中の単語につられて質問とは別の話をしてしまう。
- 相手の反応を気にせず、自分の興味のあることを話してしまい、会話のやり取りが難しい。

## こんな支援が助かります！

● 日常生活の中で、疑問詞（「どこ・だれ」など）に対してどのように答えるのか聞かせてあげましょう。関わる大人が、「どこに行く？公園に行こう。」「誰と一緒に行く？パパと行こう。」というように、「どこ」に対しては「場所」を答える、「誰」に対しては「人」を答えるというように、疑問詞に対する答え方の例を聞かせてあげましょう。

▲ ■ 質問と回答がずれたときには、「〇〇について聞いていたよ。」と質問内容を再確認する。

## 考え方のヒント

年齢別の会話の特徴と分からない時の反応

	会話の特徴	分からない時の反応
2歳前半	目の前のことであれば、ことばでやりとりすることができる	返事をしない
2歳後半	経験したことに引き寄せてこたえる	「わからない」といえる
3歳前半	・目の前のことでなくても説明ができるようになる ・話がそれやすい	
3歳後半	・ことばで答えることができるようになり始める ・不完全ながらも文章で説明できるようになる	「〇〇ってなあに？」と自分のわからないところをきける
4歳台	・話が逸れることなく、話題に沿って話すことができるようになる ・相手への意識が芽生える	

参考：質問応答関係検査「実施マニュアル」